

## ブラダン・コチ プロフィール

プラハ音楽アカデミー卒業。2000年よりプラハ音楽院チェロ・室内楽教授として後進の指導に務めつつ、ヨーロッパ、アメリカ、韓国、日本などで演奏活動を展開している。特に日本との交流は15年を超え、全国各地で数々のチャリティー・コンサートを行う一方、コンサートホールに足を運べない人々の為に病院やホスピス、老人ホーム、子供たちの施設などを訪れ、多くの人々に音楽を届け続けている。また、チェリストの妻ハナ、長男トーマス、ヴァイオリニストの長女ルツィエと「プラハ・チェロ・ファミリー」を結成、毎年夏にヨーロッパ各地に演奏旅行を行いCD録音も多数にのぼる。

東日本大震災後の被災者医療に多大な貢献をしている、諏訪中央病院の医師鎌田貴氏とも親交があり、鎌田氏が主宰する日本チェルノブイリ連帯基金のためのコンサートやCD録音もしている。大震災後も、大小の被災地支援コンサートを行い、中でも2011年8月の東京隅田トリフォニーホールでの指揮者小林研一郎とのドヴォルザークチェロ協奏曲共演は好評を博した。

旧共産党政権下で、1988年～89年に自由を拘束され、その間ドイツ・アムネ스티はじめ、多くの人々の支援を受けた。また、ルーマニアから亡命した二人の音楽家が彼の釈放を求めてコンサートを開いたこともあった。民主化革命によって自由を取り戻すまでのそうした経験が彼の音楽活動の原点となり、その活躍が高い評価を受けている。



## 有吉英奈 ありよし えな (ピアノ)

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。2001年～2004年までプラハ音楽院に留学。室内楽をヴラダン・コチに師事。コンセル・ヴィヴィアン第12回新人オーディションに合格、プライムコンサート出演。プラハ音楽院パールフィー宮殿にてソロリサイタル。国内外多数のコンサートに出演。昭和音楽大学・同短期大学・秋草学園短期大学非常勤講師。



## ルツィエ・コチ Lucie Koci (ヴァイオリン)

プラハ音楽学校を経て、ヴァイオリンをフィッツァー教授に師事、現在プラハ音楽院に在籍。2001年に結成された、父ブラダン、母ハナ(チェロ)、兄トーマス(チェロ)とルツィエから成る「プラハ・チェロ・ファミリー」でヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏活動を行っている。



## レガーロ 東京 (武蔵野公会堂のみ)

2010年、音楽大学出身や児童合唱出身等、各々豊富な舞台経験を持つ女声15名により結成。日本の合唱界の重鎮である古橋富士雄が指導にあたり、独特の力強くかつ透明感のある音色、ハーモニーを作り出し、幅広いレパートリーを持っている。2011年12月にはデビューコンサートを開催、ファーストアルバムをリリースした。また、2012年5月、フランス・パリに招聘公演の予定。



## 古橋富士雄 ふるはし ふじお (指揮)

指揮法を齋藤秀雄、作曲を島岡譲、ピアノを宮島敏の各氏に師事。これまでに日本のオペラ界の草分けである「原信子オペラ研究所」のピアニスト、NHK東京児童合唱団常任指揮者、桐朋学園大学音楽学部講師、浜松市アクティビティ音楽院音楽監督、東京家政学院短期大学講師。日本コダヤ協会理事を歴任する。現在、NHK東京児童合唱団名誉指揮者、日本合唱指揮者協会理事長、他。

### 【逗子教会】



### 【清水ヶ丘教会】



### 【武蔵野公会堂】

